

歴史文書館
イメージキャラクター
「文字朗」



磐田市歴史文書館

令和6年9月20日

文書館だより

第24号

磐田市教育委員会教育部文化財課 歴史文書館

第28回企画展

R6.11.1 (金) → 12.20 (金)

かけつかこうかいせんのみ

「掛塚港廻船之碑」建立100年

ふね ざいもく かけつかこう 船と材木と掛塚港

特別開館日：11月10日(日)

11月17日(日)

12月8日(日)

掛塚の廻船問屋が掛塚港の記憶を後世に残すために、「掛塚港廻船之碑」を建立して100年目を迎えます。かつて「遠州の小江戸」と称された掛塚地区は、今ではその賑わいは影を潜め、港の跡もなく、天竜川を行き交う船の姿も見ることができません。

今回の企画展では、古文書ボランティア「磐田古文書会」の皆さんが2年間にわたって解読した[※]「青嶋忠蔵家文書」をもとに、山林業者に伐採された木材が、^{いかだ}筏問屋などの手で川下げされ、製材業者に加工された後、廻船問屋によって東京の木場に運ばれるまでの過程を通して、港町掛塚が、歴史的にどんな役割を担っていたのかを紹介します。



あおしまちゆうとうせうけもんしよ
青嶋忠蔵家文書(当館蔵)

※青嶋忠蔵は、明治30年代前半まで、掛塚港で廻船業を営んだ西堀の住人です。

会場では、木材の流通にかかわった天竜川流域の材木商や筏問屋、木場の材木商を一覧にまとめて紹介し、流域での製材業の展開の様子を考察します。

また、当館には掛塚港が開港した当時の船の出入りを記録した帳面が残されており、多い時には80艘以上の掛塚の廻船が港を出入りしたことが記されています。このほか、廻船の安全を祈願した船祭の資料も貴船神社に残されています。



千石船「明慶丸」(白羽神社奉納絵馬)

更に、『日本船名録』には、当時使用されていた廻船の大きさや形などが表示され、これを製造した船大工の名前まで知ることができます。

廻船業者にとって大切な船は、模型や絵馬として地元の神社に奉納され、祭りにも曳き出されて、氏子は航海の無事を祈りました。掛塚港の歴史を物語る貴重な資料であるこれらの船も併せてご紹介しますので、ぜひ歴史文書館にお越しください。

企画展関連イベント

・ 展示解説 11月10日(日)、11月17日(日)

時 間： 10:00～、14:00～ 申込不要、直接会場へお越しください。
会 場： 歴史文書館展示室（竜洋支所内）

・ バスツアー 12月5日(木)

11月1日(金) 申込受付開始(先着順)

時 間： 8:45 集合、16:00 解散（集合解散は竜洋支所）
見学場所： 旧津倉家住宅（掛塚）、旧田代家住宅（鹿島）、旧青山邸（横山）など
（申込等詳細は「広報いわた 10月号」をご覧ください。）

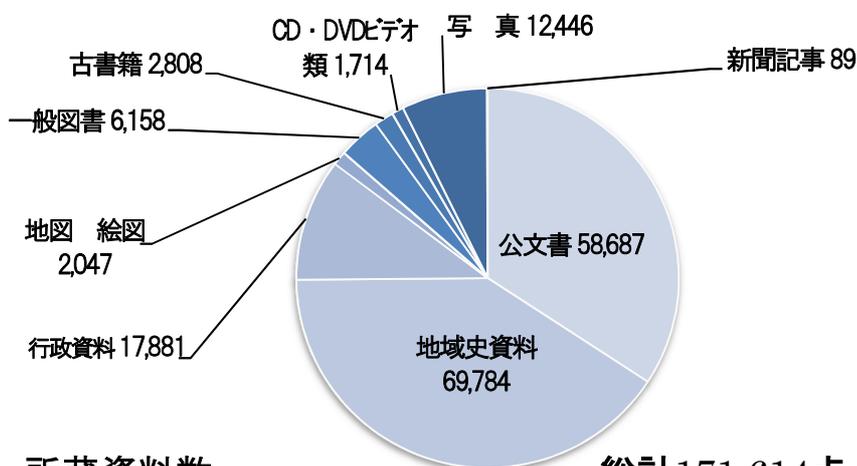
・ 歴史学習会 12月8日(日)

11月1日(金) 申込受付開始(先着順)

時 間： 13:30～15:00
会 場： 竜洋支所 2F 会議室
内 容： 「天竜川川下げ材の流通と掛塚」
（申込等詳細は「広報いわた 10月号」をご覧ください。）



所蔵資料数（令和5年度末）



令和5年度末の所蔵資料総計は171,614点となりました。内訳は左のグラフのとおりです。

公文書は、保存期限が満了したものを選別し、歴史的・文化的に重要な文書、行政の説明責任として残すべき文書など58,687点を保存しています。

最近、増えています！
こんな時にはご相談ください。

- 古い家や蔵を壊すので、古文書や古写真などの資料を、磐田市へ寄贈したい。
- 郷土や先祖の研究のため、資料を紹介してほしい。



磐田市歴史文書館

所在地 〒438-0292 磐田市岡729-1
電話 0538(66)9112
FAX 0538(66)9722
E-Mail chiikishi@city.iwata.lg.jp
休館日 土・日・祝日・年末年始
開館時間 午前9時～午後5時